



気圧式汚泥集排装置（スカッシャー）

■特徴

1. 集泥と排泥を同一装置で行います。
2. あらゆる形状の沈殿池に適用できます。
3. 沈殿池のどの部分からも均等に集泥します。
4. 既設の槽でも、形状を変えずに設置できます。
5. 稼動部がないので故障がありません。
6. 動力はコンプレッサー（0.4kw）だけです。
7. 価格は従来の機械式に比べ安くなります。

■悩みを一掃するスカッシャー

表流水、伏流水、地下水等と水源が異なっても、沈殿池に堆積する汚泥は悩みの種となっており、メンテナンスそのものを困難にしているとも言われています。

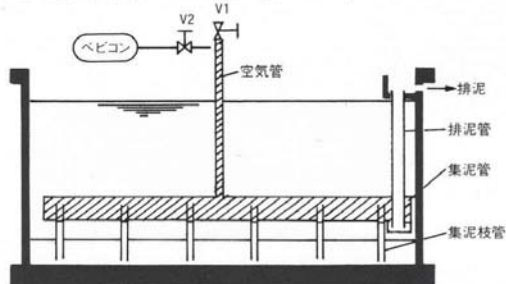
この悩みの汚泥を除去する画期的な装置として登場したのが理水のスカッシャー（気圧式汚泥集排装置）です。

原理

1

● 休止中のスカッシャー

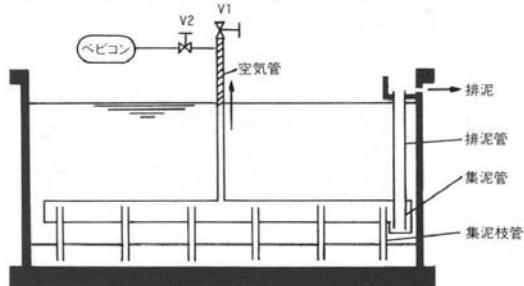
V1、V2開の状態では図の様に管内に空気が充滿して平衡を保っていますので管のつまる心配がありません。



2

● 集泥中のスカッシャー

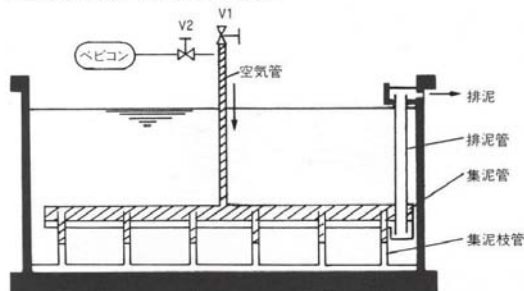
V1開により集泥管内の圧力が大気圧となるので各枝管に均等に水圧がかかる。これが均等に集泥する秘訣です。



3

● 排泥中のスカッシャー

V1閉V2開により集泥管内のスラッジは空気圧により水圧の低い排泥槽の方へ押し出されます。

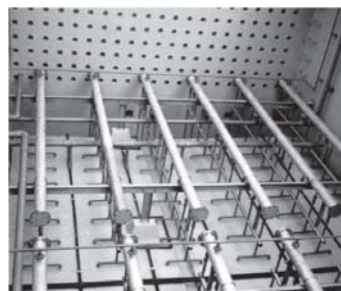
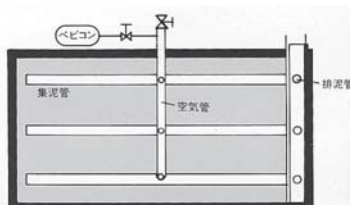


移動式…大型の沈殿池に対しては、移動型が有効です。

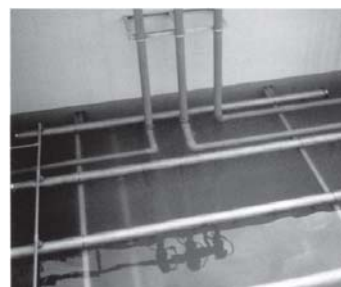


スカッシャーの設置例

池の大きさや形状、沈殿量の多少およびその分布などにより、集泥管を調整します。



固定式



固定式（完成後）